

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 ㉞線部(ア)「混(じって)」の読みをひらがなで、㉞線部(イ)「カンサツ」、(ウ)「ケツコウ」を漢字で書きなさい。

問二 空らん **A** にあてはまる言葉を、文中から漢字一字で抜き出して答えなさい。

問三 空らん **I**、**II**、**III** にあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア	I	ツンと	II	ボソボソと	III	ジンと	イ	I	ツンと	II	ポツリと	III	ピンと
ウ	I	ヒリヒリと	II	ポツリと	III	ジンと	エ	I	ヒリヒリと	II	ボソボソと	III	ピンと

問四 Sさんは㉞線部①「スプーンを持つ手に、無意識に力がこもった」という表現に着目し、志音の気持ちについてノートに整理した。これについて、後の問いに答えなさい。

【ノート】

○志音は部活について悩みを抱えている。

- =
- ・スネアがちゃんと叩けないため、しばらく
 - ・今のままでは自分が入部した意味がないと感じている。

1

《ここから読み取れること》

2

志音は
そして、
3
と考えている。

(1) 空らん 1 にあてはまる言葉を、文中から十五字で抜き出して答えなさい。

(2) 空らん 2、3 にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ア 2 ドラムの演奏に自信をもっていて、一日も早く演奏したいと思っている
3 いつドラムが叩けるようになるのか知りたい
- イ 2 ドラムの演奏を楽しみにしていて、担当者としての責任を感じている。
3 部員といっしょに先生を説得したい
- ウ 2 ドラムの演奏に関心が高く、少しでも長く関わっていたいと思っている
3 みんなのために演奏技術を高めたい
- エ 2 ドラムの演奏が好きで、自分らしさを表現できると感じている
3 今の状況を何とか打開したい

問五 ―線部②「おもむろに」の意味として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 落ち着いてゆつくりとしたさま。
- イ だらしなく面倒めんどうくさそうなさま。
- ウ 思いもかけず急に行動するさま。
- エ たよりなく落ち着かないさま。

問六 ―線部③「なにそれ」とあるが、この時の志音の気持ちを説明したものととして最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 母がなぜ自分を慰めようとしてくれているのかよく分からない。なぐさ
- イ 母が死んだ父のことを話し始めたことが不思議でたまらない。
- ウ 母が説明してくれた太鼓の持つ力について納得できていない。
- エ 母が父についてどのような話をしてくれるのか楽しみで仕方ない。

問七 ―線部④「打楽器っぽい人」とはどのような人のことか。二十字以上二十五字以内で書きなさい。

問八 ―線部⑤「嘆息する」の意味を国語辞典で調べると「なげいたり感心したりしてため息をつくこと」とある。本文の場合、「なげいている」「感心している」のどちらがふさわしいとあなたは考えるか。どちらかを選び、そう考える理由を書きなさい。

問九 ー線部⑥「血液型占いみたい」とあるが、何をこのようにたとえているのか、「という話」につながるように、読点を含めて、十六字で抜き出して答えなさい。

問十 この場面における志音の母親について説明したものとして最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア カレーづくりに失敗した原因を子どもに知られまいとしてひどくあせっている。
- イ 子どもの悩みごとに真面目に対応しながらも明るい雰囲気をつくりだしている。
- ウ 父親が話していた楽器と人の性格のことを正確に伝えようと必死になっている。
- エ 部活の悩みを重大なこととは考えておらず子どものことを軽くあしらっている。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文と図の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部（ア）「カンシン」、（エ）「タヨウ」を漢字で、Ⅲ線部（イ）「都会」、（ウ）「行楽」の読みをひらがなで書きなさい。

問二 空らん A、 B にあてはまる言葉を、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア そして イ しかし ウ だから エ むしろ

問三 Ⅰ線部①について、この表現に込められた筆者の本当の思いはどんなものですか。これより前の文章の語句や表現を用いて、解答らんに合う形で五十字以内で説明しなさい。（ただし、「竹林」と、「里山」の語を使用すること。）

「本当は [] に戻したいと思っている。」

問四 空らん C、 D にあてはまる語句を、 C は二字、 D は四字で答えなさい。

問五 Ⅰ線部②「こういう関係」とは、どんな関係ですか。簡潔に説明しなさい。

【三】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい

次にあげる文章は、種田山頭火（たねださんとうか一八八二（明治十五年）～一九四〇（昭和十五年））の日記の一部です。

山頭火は貧しいながらも全国を旅し、旅先で俳句をよんで一生を送りました。ふつう、俳句は「五・七・五」の十七音で書かれますが、山頭火は型にはまらない自由なリズムで景色や気持ちをよんだことで有名です。

あとの問いに答えなさい。

【日記①】

二月二日 雨、くもり、晴れ。

大村湾はうつくしい。海にそっていちにち歩いたが、どこも美しかった。歩いているうちにふと梅の香りが鼻をうった。

「梅が香もおもいでのさびしさに」

問一 日記①についての感想を書いた文章のうち、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一日歩いた疲れが、忘れられるような梅の美しさをあらわしている。

イ 一日歩いて、とてもさびしくて、海を美しいと思えなかった。

ウ 美しい海を見て、梅のにおいがかいで、何かさびしさを思い出している。

二月四日 くもり、雨、長崎見物

夜は句会（みんなが集まって俳句をよむ会）、ほんとうに親しみのある句会だった。

友へのたよりに、――長崎よいとこ、まことによいところであり、ことにおなじ道をゆくもの
ありがたさ、あたたかい友に案内されて、長崎のよいところばかりを味わわせていただいております。

長崎の句として

「ならんであるくに石だたみすべるほどの雨」（だんだんすべるような危険を持ってきた！）

「冬雨の石階いしぼしをのぼるサンタマリヤ」（大浦天主堂）

問二 日記②の―線部「おなじ道をゆくもの」とありますが、何を愛する人たちですか。漢字二字で答えなさい。

問三 日記②の二つの「長崎の句」について感想を話し合っています。二つの「長崎の句」からわかることを話しているのは誰ですか。次の中からひとつ選び記号で答えなさい。

ア A君 「二月のすぐく寒い様子が伝わってくるよね。滑りそうなくらい凍ってるのは、長崎では珍しいから心に残ったんだ」

イ B君 「そんなに寒くないのかな。雪ではなく雨が降っているみたいだ。大浦天主堂で、長崎とキリスト教の関係がよくわかるよ」

ウ C君 「長崎ってやはり雨の町なんだ。長崎の晴れた日をよいところとは書いていないもん」

二月六日 春が近いというよりも春が来たようなお天気である。

長崎の銀座、いちばん賑にぎやかな場所はどこですか、どうゆきますか、と人にたずねたら、浜ノ町でしようね、ここから下って上ってそして行きなさいと教えられた、石をしきつめた街を上って下って、そして下って上って、そしてまた上って下って、——そこに長崎らしさがある、山につきあたって、海べりへ出ても。山へ、山の上へ、上へと伸びてゆく、山の家、——それが長崎だ。

問四 日記③で種田山頭火が感じている「長崎らしさ」とはどのようなものですか。日記③の内容をもとにして、三十字以内で説明しなさい。

四 次のページにある洪水「ハザードマップ」に関するあとの問いに答えなさい。

問一 なぜ近年「ハザードマップ」が重要視されているのか、理由を簡潔に説明しなさい。

問二 洪水「ハザードマップ」から、考えたことについて発表することとなった。あなたが発表する内容を次のかたちで完成させなさい。

ただし、①には「ハザードマップ」から、あなたが気づいた危険な場所について十五字以内で書くこと。
また、②には、住民にとって命を守るために大切だと考えられる具体的な行動を六十字以内で書くこと。

この「ハザードマップ」から、①に危険な場所が多いことがわかります。

だから、住民の安全を保っていくためには、住民が、

②

ことが重要です。

私はこの「ハザードマップ」を通して、身近なところにこそ危険があることを知り、自分自身が命を守る行動をする必要があることに気づきました。

マップの掲載は控えております。

国語

解答用紙

受験番号

令 6 中 (2)

一

問 十	問 九	問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一
		理由				(2)	(1)		ア
		「嘆いている」「と」 「感心している」「のどちらかを選択 理由」							(じって)
									イ
									ウ

二

問 十	問 九	問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一	
						C		A	ア	
								本当は		
						D			B	
										イ
										ウ
										エ

三

問 十	問 九	問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一

四

問 十	問 九	問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一

国語

解答用紙

一

問一	ア
問二	十分に腕前を發揮しようとして、意気込む(こと)。
問三	A
問四	ウ
問五	想像

問三	A
問四	ウ
問五	雅彦が喜ぶものをと必死に考えた祖母の思いに気づかず、祖母にひどい仕打ちをしたことに気づいたから。

問六	エ
問七	④
	雅彦の精一杯の謝罪の気持ちを受け止め、雅彦をいたわる気持ち。
	①
	誕生祝いの品物を贈れず、お握りなんかでごめんねと、わびるよ うな気持ち。

二

問一	ア
	屋根
	イ
	修学旅行

問二	洞爺丸がひっくり返って沈んだこと。
問三	a
	水蒸気
	b
	太陽の熱と水
問四	エ
問五	まわりまわって世界を動かす点。

三

問六	c
	能力
	d
	証明
	e
	太陽

問一	三連
問二	積もった雪に反射する日光。

問三	エ
問四	イ
問五	C
	さん
問六	どちらも雪が降りたくさん積もった冬の晴れた朝が描かれている。

四

問一 まだ食べることが出来る食品が、捨てられてしまう状況があること。

問二	②
	①

50 ※食品ロスを減らすためにみんなで(社会全体で)取り組むべきこと。

30 ※食品ロスを出さないために私に取り組んでいること。